

TRY

2020年
9月号



北見商工会議所青年部

北見商工会議所青年部事務局

〒090-0023 北見市北3条東1丁目 北見経済センター内
TEL (0157) 23-4111・FAX (0157) 22-2282 E-mail info@kitami-yeg.jp
URL http://www.kitami-yeg.jp



NEW FACE

新入会員紹介

8月までに2名の新たな会員が入会いたしました。今後大きな力となる新入会員の皆さんをご紹介します。



北見商工会議所青年部
第1研修委員会
大森 達也
株式会社PHYSIT
代表取締役



北見商工会議所青年部
親睦委員会
狩谷 茂
株式会社ケーズワーク
代表取締役

「皆さん明るく活発に活動されている団体だと感じました。快く私を受け入れていただきとても嬉しく思っております」と話す大森さん。頼もしい仲間が増えました。

「後藤田さんからの紹介で入会しました。可能な限り委員会や例会に出席し、異業種の方々と交流を深めていきたいですね」とこれからの抱負を話してくれました。

北見YEGで繋がります!!

会員募集



北見商工会議所青年部(北見YEG)では、新入会員を随時募集しています。

北見YEGとは会員相互の親睦を深め、企業経営者及び企業幹部としての研鑽を積み、北見商工会議所の事業活動への参画と協力を通じて、地域における商工業の振興と発展に寄与する団体です。定例会や委員会などのほか、会員交流事業も活発で、対外的にも積極的に活動しています。興味がある方はお気軽にお問い合わせ下さい。



商工会議所青年部「YEG」って?

商工会議所青年部は、次代の地域経済を担う若手経営者・後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と会員相互の交流を通じて、企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。活動の中心は、あくまでも地域経済をリードする若き企業経営者の勉強の場であり、綱領に則り、企業の発展と同時に、地域経済の発展を図る商工会議所の一翼を担うという理念のもとに、各地の商工会議所に設置されています。

現在の会員数は、415単会および33,000人(日本商工会議所青年部(日本YEG)加盟)を数えるまでに大きく成長してきました。青年部出身の会頭・副会頭や常議員、議員も増えてきています。また、地域の商工業者の後継者として若さと情熱をもった若き経済人として、産業界のリーダーとして活躍しています。まさに「若き起業家集団」として、地域の次代を担う志の高い経営者の育成に貢献していると確信しています。日本YEGは、ますますその存在と責任の重さを感じながら、真に地域が繁栄していくためのリーダーづくりに努力していきます。

北見商工会議所青年部 例会活動再開に向けて



北見商工会議所青年部
会長
小村 忠義
AR I
代表

日頃より青年部活動に対しご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月から予定していた事業を通常どおり開催する事が困難な状況になりました。

2月に北海道知事から緊急事態宣言が発令され、翌月には解除されましたが、その後東京オリンピック・パラリンピックが約1年の延期となる事が決定し、それに伴い情勢は変化し、当会としても4月から開催予定であった例会を9月末日まで自粛すること、9月の創立20周年記念事業、11月の記念式典・祝賀会は来年への延期とする決定を致しました。

その後は、会員が一同に会しての行事は自粛していますが、WEB会議システム「ZOOM」を利用しオンライン形式での交流会で団結力を高める企画、コロナ禍による自粛中の工夫をSNSのリレーで繋げる企画、ミニばんち祭りの開催等を通じてメンバーとの交流を図っているところ。また、新型コロナウイルス対策マニュアルを作成し、行事開催を実現していく為に、感染を予防する取組み、今までは違う開催方法を考えながら、新北見YEGスタイルの確立を目指してまいります。

現在は、これまで当たり前であった事が当たり前ではなくなっておりますが、かつての活気を取り戻すためにも、会員の知恵を結集し、10月からの例会活動再開に向け躍動していきたいと思っておりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

YEG会員 企業訪問



南リーサ
チーフマネージャー
遠藤 綾さん
北見商工会議所青年部
親睦委員会

遠藤さんは北見や札幌でスナックを、東京ではスーパーカーを展開する有限会社リーサでチーフマネージャーとして活躍しています。コロナ禍で遠藤さんが勤務するお店も休業していましたが、6月1日に再開してから常連さんなどが声をかけてくれたり、人の繋がりに感謝していたそうです。コロナ前の状況に早く戻り、また楽しく過ごせる日常になればと話す遠藤さん。「当店は業者に抗菌コーティングしてもらったり、毎日のスタッフの検温だったり、コロナ対策、予防をしっかりと行っています。ぜひ楽しい時間をお過ごしください」と話す笑顔にこれからに向けた真摯な思いを感じました。





北見商工会議所青年部
第1研修委員会 委員長
岡田 和樹
医療社団法人 御町歯科医院
理事長



北見商工会議所青年部
第2研修委員会 委員長
丸茂 修平
㈱マルモ
鋼材資源事業部
鉄鋼課営業



北見商工会議所青年部
親睦委員会 委員長
石崎 徹
㈱海田鋼材
常務執行役員



北見商工会議所青年部
総務広報委員会 委員長
坂本 勤
㈱ホームセンター坂本
代表取締役社長

第1研修委員会委員長の岡田和樹と申します。北見YEGらしさとは何か。それは、第1研修委員会では「団結力」であると考えています。今年の4月から小村会長による新体制がスタートしました。しかし、新型コロナウイルスの影響により北見YEGでは9月までの全ての例会を自粛し、20周年記念事業は来年度に延期となり、団結力の低下は否めない状況になっていました。

そこで第1研修委員会では、高知の文化と姉妹提携の歴史を学び、高知の食文化である「おきやく(宴席)」を体験することで団結力を高める7月WEB交流会を開催しました。交流会を通して少しは団結力を高めることができたと思いますが、さらに団結力を高めるためには、やはりメンバーが一堂に会することが一番であると考えます。そして、10月からはついにYEG活動が再開され、メンバーが一堂に会することが可能となりますが、それには感染予防対策が非常に重要となります。そこで第1研修委員会では、この新型コロナウイルスの影響が続く中で少しでも感染のリスクを小さくし、メンバーが一堂に会することができるための研修を企画し、北見YEGの団結力を高めることを目指していきたいと考えています。

5月WEB交流会

昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、北見YEGでは9月末まで人が集まる形での例会開催を自粛している中、メンバー同士が顔を合わせて交流を行い、メンバー間での繋がりを再確認し今後に向かっていくための機運を高める機会として、WEB上での交流会を開催させて頂きました。

本交流会はWEB会議システム「ZOOM」を利用して開催しました。北見YEGとしては初のWEB上での全体行事となりましたが、各委員会の正副委員長の皆様にもご協力頂き多くのメンバーにご参加頂く事ができました。

今回はメンバー間の懇親を深める事を主な目的として、飲食を交えながらの「WEB飲み会」形式で開催しました。例会とは違いリラックスして参加頂きたいという思いから服装は自由とさせて頂き、仮装をさせて頂き参加頂く方もおられて、画面上でも大変楽しい雰囲気となりました。

交流会は小村会長のご挨拶、乾杯のご発声から始まり、まずは参加したメンバーに近況報告をして頂きました。自粛期間で公私共に皆様が大変な状況の中、情報を共有し励ましあう事で、改めてメンバー間の絆を深めて頂けたかと思えます。また、4月に新入会員となられた中本典孝君、佐藤敬生君にもご参加頂き、自己紹介をして頂きました。

その後はレクリエーションとして全員

令和2・3年度、第2研修委員会委員長を拝命いたしました丸茂修平と申します。第2研修委員会は、『地域経済及び、自企業の持続的発展の一助となる研修』を行う委員会を目的とし、活動をしてまいります。

私の北見YEG入会の動機は、稼業である株式会社マルモが地域の皆様に支えられて90年以上が経過します。少しずつではありますが、北見YEGを通じて、お返しをしていきたい。その気持ちで入会をし、活動をして参りました。

第2研修委員会は私の入会動機を叶える絶好の委員会であり、委員長に選出いただいた皆様には感謝を申し上げたいと思います。

北見YEG活動再開に向けて、私は新型コロナウイルス感染対策が最も大切であると考えます。その為、従来の例会様式の殻を破り、新しい例会様式を模索していきます。

そして、北見が疲弊している今、この状況を打開する糸口を見つけない。菓をも掴む気持ちの会員がいる前提で物事を考え、副委員長、委員会メンバーと一丸となり、委員会活動、各種会議に励んでまいります。

参加の「じゃんけん大会」や、委員会対抗戦の「お絵描きゲーム」を行い、じゃんけん大会は水上監事と平山副委員長、お絵描きゲームは総務広報委員会の優勝となりました。後藤田常務理事の臨機応変な進行のもと、ご参加頂いたメンバーにもご協力頂き、大変楽しい時間を共有する事ができました。

本交流会を通して、改めてメンバー間の繋がりを確認し、親睦を深める事で今後の活動に向けて弾みをつけて頂けたのではないかと思います。また、「ZOOM」を利用して頂く事で、今後のWEB上での行事開催に慣れて頂く事ができたのかと思えます。反省点としては、一時的に音声トラブルが発生し対応に苦慮した点が挙げられます。機器や設定での対応などを今後検討して、WEB上での行事開催に際しトラブルを極力減らしていけるように努めて参りたいと思います。

最後になりますが、本交流会にご参加頂きました皆様、開催にご協力頂きました皆様に感謝を申し上げますと共に、今後の青年部活動へのご参加にご協力を改めてお願い申し上げます。本交流会の報告とさせて頂きます。



団結力を高めよう！ 7月WEB交流会

親睦委員会の食いしん坊、石崎です。先ずは、8月交流会にご協力頂いた皆様方にお礼を申し上げます。他の委員会と垣根を超えた交流が出来て当委員会にとっても有意義な時間となりました。

本年は、コロナ禍の影響で例年とは違う活動内容となり、時期もペースも手探り状態となっています。当委員会の主たる事業は、ほんちまつりの協賛事業であるビア&カフェほんちまつりでの資金造成や地域の活性化、それらの事業を通じてYEGメンバーの研鑽と親睦を深める事です。しかし、これからは親会の意向や他団体とのコセンサスが得られなければ、お祭り自体の開催可否も解からない状態です。何らかの進展があればご報告致しますので、その際はご協力の程宜しくお願い致します。

7月にメンバー間で行われた、コロナにマケルナのSNSリレーを拝見すると、自粛期間中にダイエツトに励む投稿が多く、当委員会のメンバーからダイエツトサークルの企画立案がありました。メンバーと共に今度こそは結果にコミットするのではないかと企んでいるところです。

本来の意味とは違いますが、「他力本願」を胸に、皆様のお力をお借りして委員長という大役を果たせるよう頑張っていく所存です。

新型コロナウイルスの影響により、北見YEGでは9月までの全ての例会を自粛し、20周年記念事業は来年度に延期になりました。5月からはWEB交流会が始まったものの、当然メンバーは集まることはできず、団結力の低下は否めない状況になっています。そこで、このような時だからこそ、7月WEB交流会では少しでも団結力を高められる交流会を企画し開催致しました。また本交流会は、参加者が気軽に楽しく参加できるようにオンライン飲み会の形式と致しました。

第一部では、ほとんどが高知県の人達で構成されていたという「北光社移民団」の北見への入植の話から北見市と高知市の姉妹提携の歴史を学び、さらに、現在唯一のチャーターメンバーである五十嵐さんから、10年前に行われた北見YEGと高知YEGの姉妹提携の歴史について教えて頂きました。その後、ひろめ市場、日曜市、土佐闘犬まんが文化、土佐備長炭、よさこい、カツオ、捕鯨文化、棚田などの高知の文化について学び、バラボの地下1階で高知のアンテナショップ「来てみい家を経営している本所さん」から、高知の魅力、高知と北見のコラボ商品などお店の紹介をして頂きました。

第二部では、高知の食文化である「おきやく(宴席)」を実際に体験しておもてなしの文化を学んでもらうため、まずは山猫酒場の我妻さんの協力のもと、カツオの薫焼きをライブ中継し皿鉢料理を再現

この度、総務広報委員会委員長を拝命いたしました坂本です。

新型コロナウイルスの影響でこれまで数か月の間、活動を自粛してまいりました。未だ終息の兆しが見えない状況下ではありますが、通常の活動期間より短い時間だからこそ、組織の力を集結し、北見YEGの活動の一助となるよう努めてまいります。

当委員会では、会員が組織を活用し「この組織のメンバーで良かった。」と感じられる。下支えを目的の一つに置いています。具体的活動内容の一つである新入会員のレクチャー事業では、組織の歴史はもちろん、組織の魅力についても発信できるものを作っていきたいです。

そして、間近に控えた20周年記念事業への取り組み、広報誌TRYの発行、ホームページ作成などを通して、会員の連携の強化を図り、如何にして組織の下支えができるのか？を計画、行動していくために、委員会メンバーはもちろん、会員皆さんの力をお借りして精一杯努力してまいります。まだまだ至らない点も多く、これからも皆様からのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。



して頂きました。この皿鉢料理には、ライブで見ていた高知の人達も絶賛していました。その後、今回のメインイベントである高知の料亭濱長(女将、濱口実佐子さん)からライブ中継にてしばてん踊り、可杯、菊の花、箸拳などのお座敷遊びを実際に披露して頂きました。しばてん踊りは、かまくら番長にて第1研修委員会メンバーと一緒に踊り、高知YEG吉本大輔会長と当委員会メンバーがオンラインで箸拳するなど大いに盛り上がりました。

1986年に北見市と高知市が姉妹提携し、2010年には北見YEGと高知YEGが姉妹提携をしました。しかし、高知と北見に密接な関係ができていくにも関わらず、高知の事を知らないメンバーが多かったと思います。今回、高知の文化と姉妹提携の歴史、そして高知の食文化である「おきやく(宴席)」を実際に体験しておもてなしの文化を学ぶことで、メンバー間の絆は深まり、団結力を高めることができたのではないかと考えています。また来年6月には、延期された20周年記念事業を開催する予定であり、本交流会の経験が高知YEGメンバーへのおもてなしに繋がることができれば最高であると考えます。